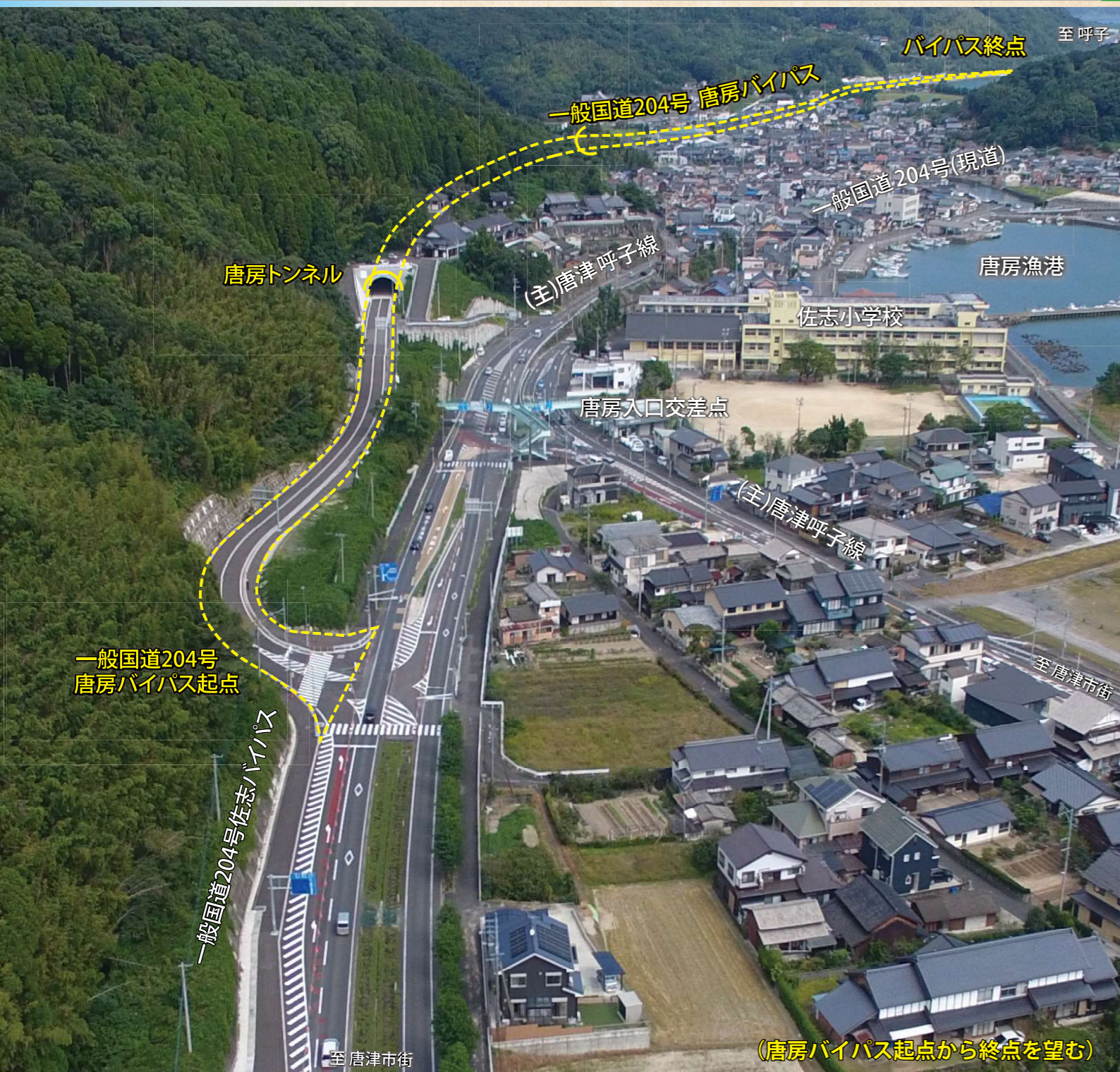


一般国道 204号

とうぼう

唐房バイパス



一般国道 204号 唐房バイパス

一般国道204号は、佐賀県唐津市を起点に東松浦半島の玄界灘沿岸を周回し、長崎県佐世保市に至る総延長約162kmの幹線道路であり、半島には玄海国立公園や名護屋城址跡などの自然景観や歴史的文化遺産、呼子の朝市やイカの活造りなどの観光資源が多く存在し、文化・観光・経済及び産業交流を図る重要な路線です。

しかしながら、一般国道204号の佐志バイパス事業区間(平成18年度供用開始)と接続する唐房入口交差点からの現道は、線形不良や幅員狭小で歩道もなく、朝夕の通勤時間帯を中心に交差点付近では慢性的な渋滞が発生しています。

唐房バイパスは、地域交通の安全を確保するとともに、唐房入口交差点の渋滞を緩和し、重要港湾唐津港や玄海国立公園地域へのアクセス機能向上を目的とした、延長2.0kmの2車線バイパス事業として整備。令和5年11月12日に供用を開始しました。

事業概要

事業名	一般国道204号唐房バイパス	道路規格	第3種2級
事業主体	佐賀県	設計速度	60 km/h
起点	自：佐賀県唐津市佐志浜町	事業内容	道路改良工 L=1,273.5m
終点	至：佐賀県唐津市鳩川		トンネル工 L=487.0m
延長	L=2,000m		橋梁2橋 L=239.5m
標準幅員	W=11.0m 2車線 (車道:6.5m、路肩:2.0m、歩道:2.5m)	事業期間	平成17年度～令和5年度
		総事業費	約84億円

佐賀県道路網イメージ図

